

図書館だより

第30号

鹿児島国際大学附属図書館報

The International University of Kagoshima Library

— 目 次 — contents

- 「さあ、国民読書年、図書館へ行こう」…………… 種村 エイ子 …… 2p
- Book of Life ～私と図書館～ …………… 3～4p
「書庫探検のすすめ」…………… 黒瀬 郁二
「私と図書館…懐かしい図書館長時代」…………… 高山 忠雄
- あなたのお悩み解決し隊!! (第6回：図書館HPリニューアル!!) …………… 5～6p
- サポーター活動中!! …………… 7p
- Library Report …………… 7～8p



夏目漱石直筆原稿「文芸委員は何をするか」
(鹿児島国際大学附属図書館所蔵)

さあ、国民読書年、図書館へ行こう

附属図書館長 種村 エイ子

インターネットの普及により、図書館の蔵書検索がどこでも可能になりました。新聞記事や雑誌の論文を探すこともできるようになりました。本学の図書館ではまだ実現していませんが、自宅にいながらリクエストやレファレンスの申し込みもできる時代です。離島やへき地の多い地域では、こういう非来館型サービスは大変貴重です。世界ではグーグルの電子図書館プロジェクトがすすみ、世界中の図書がデジタル化されています。図書館や書店に足を運ばなくても本が読める時代になりつつあるのです。早くも「活字文化を中心に収集、提供してきた図書館の役割は終わった」と主張する向きも出てきました。

しかし、本学では、デジタル化を進めながらも、講義の合間に図書館という“場”に足を運んでいただき、多くの本を手にとって知的刺激を受けたり、ほっと一息ついたりするような場所にしたいと考えています。

夏休み前のキャンパス見学会では、夏目漱石の生原稿など貴重書の公開やOPAC体験に加え、音楽科学生による音付き絵本の公演、図書館サポーターによる大型絵本の読みきかせ、新聞データベースを使ってのかごしまクイズや誕生日の新聞にタイムスリップする試みなど、盛りだくさんのメニューを準備して、多様な魅力を持つ大学図書館を体験してもらいました。例年になく多くの高校生や保護者が足を止めて、楽しんでくれました。今度は、在学生のみなさんに、さらに“場”としての図書館に魅力を感じてもらい、毎日足

を運びたいくなるような居心地のよい空間を提供しようと、スタッフ一同はりきっています。

おりしも、2010年は国民読書年。2008年6月6日に国会で決議されたものです。決議文中には「文

字・活字によって、人類はその英知を後世に伝えてきた」ものの、わが国では「活字離れ、読書離れが進み、読解力や言語力の衰退が我が国の精神文化の変質と社会の劣化を誘因するような大きな要因のひとつとなりつつある」として、国をあげてあらゆる努力を重ねるために設けられたのです。まもなく、わが図書館にも、学生サポーターのお手製「国民読書年」の垂れ幕が目見えする予定。せっかくのチャンスを活かして、みんなで、国民読書年を楽しむプランも練っていきます。みなさんからの積極的な提案も待っています。



貴重書公開



誕生日の新聞にタイムスリップ

ちよつとひと息

鹿児島ゆかりの作家: 椋 鳩十



大学を卒業後、鹿児島で教員として赴任し、作家活動を始めると、『マヤの一生』、『モモちゃんとかかね』など、数多くの作品を生み出しました。また、鹿児島県立図書館長在職中には、「母と子の20分間読書運動」を提唱し、全国的な反響を呼びました。加治木町には「椋鳩十文学記念館」があります。

Book of Life ~私蔵図書館~



経済学部 黒瀬 郁二

「探検家」という言葉を聞いて、誰を思い浮かべるだろう。ヴァスコ・ダ・ガマ？マゼラン？それともコロンブスだろうか。南極探検の白瀬中尉をあげた人はかなりのマニアだ。では現代の探検家は？と問われても、とっさに名前が出てこない。それほどに「探検家」という言葉は死語になりつつある。

ところが“EXPLORER”という言葉になると、にわかには新しい響きを帯びてくる。“Internet Explorer”（インターネットの探検家）のことである。かつての探検家が大蛇やワニがひそむジャングルに足を踏み入れたように、現代の探検家は「情報のジャングル」に分け入るのである。

けれどもネットでは「黄金の国」になかなかたどりつけない。YahooやGoogleのおかげで情報検索は容易になったが、ゴミの山と宝の山が混在するモザイクのような世界が広がる。ジャングルに分け入って、分け入って「黄金」を探さなければならない。首尾よくたどりつけばよいが、ときにマユツバ情報やガセネタ情報の森の中へ迷いこむ。

道に迷ったら、どうする？そんなときは図書館書庫へ探検の旅に出かけよう。手掛かりとなる「地図」（本の分類表示）がある。もちろん地図に「黄金」のあり



かは記されていないが、すぐそばまで案内してくれる。PC検索でめぼしをつけた本のあたりを見まわすと、金色に輝く本が見つかるかも知れない。その醍醐味をいちばん味わえるのは地下書庫だ。

地下書庫に入るには、まずカウンターで手続きを済ませる。気の弱い人は誰かと一緒に行くことをすすめる。カウンター裏の階段を降りきると、そこが地下書庫だ。天井は高く、灯をつけてもほの暗い。まるで「本の墓場」のような雰囲気漂わせている。が、実はここにこそ、時を超えて生き続ける珠玉の本が眠っているのだ。

ぶっくんの 図書館まめ知識



書庫へ入るときは、カウンターにある「入庫申込書」に必要事項を記入します。手荷物は持ち込めませんので、ご注意ください。

私と図書館・・・懐かしい図書館長時代

福祉社会学研究科 高山 忠雄

私にとって、図書館との出会いは、終戦後間もない、荒廃した田舎の小学校で名ばかりの図書室であったと記憶する。蔵書数も少なく、教室の片隅に分類もされずひっそりと並んでいた感を強くするが、身近に本など存在しなかった当時、私は、この場所は日本一多くの本がある場所と、何の疑いもなく誇りにさえ思っていた。その後、中学高校の図書室、浪人、大学、大学院、研究所と図書館は出世魚のように私を迎え、その都度、規模、蔵書量、快適さに（昔は図書館にのみ冷房あり）浸ったのは、昨日のようにも思う。

時は過ぎ、30余年の国立研究所勤務から岡山県立大学に移った10数年前、図書館長を命ぜられ、途中2年間は情報センター長を併任したことが、私流図書館改革の情熱に火を点けた気がするのである。

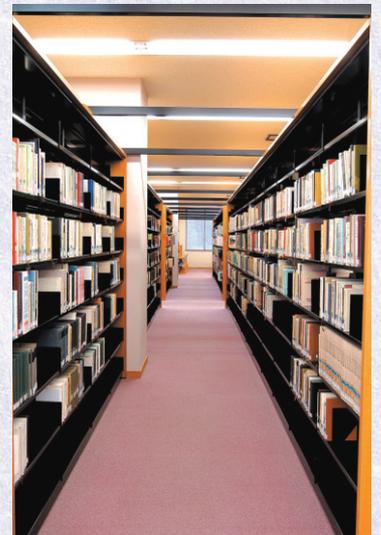
図書館を見る目は、小学校の図書室から50有余年、自らが必要に応じ利用する所から、攻守所を変え、利用していただく側に立ったことを意味する。当初は、日本十進分類法や中国の古典籍、帙に入った線装本など、日々勉強であった。ある時、図書館を病院に例えてみた。病院長は、医師免許を持ち、総合病院なら、全科を把握し、看護部等多専門職を十分に理解し、より良い病院運営に力を注いでいることは当然視されている。これに対し、図書館長は、どれだけ専門職（司書）を理解し、司書資格を持つ図書館長はどのくらい存在するのか。就任間もなく、疑問から改革への意識は、更に速度を増した。

まず、司書さんの勤務満足度分析から、待遇改善にも着手、かつ宿題も出し、図書館の内側、いわゆる図書館を利用してもらう立場から多角的に分析、購入図書の中・中期計画、貸出システムも従来通りで良いのか、21世紀型大学図書館はどうあるべきかに腐心した思いは、今も懐かしく思う。特に、情報センター長の立場を最大限に活かし、是と思う図書館へのIT導入、卒

論・修論等のCD-ROM化、各学部研究科に専門資料室を設置し、サテライト化（図書の不明増により不評）、また、岡山県立図書館との連携、図書館大学（現・筑波大学に統合）との交流、中四国ブロック図書館長会、公立図書館長会の協力を得て、調査（障害学生の図書館利用の現状と展望）を実施し、全国図書館長会での報告も、思い出の一つである。

大学は大きく変貌する中であって、変わらず大学の中核であり、知の館としてあり続け、歴史館としてゆるぎない重厚さを得ているのは、図書館以外に存在しないと考えている。本学も50年後、100年後変わらず存在しているのは、やはり図書館の存在であると信じているのは、私だけではないと思う。何故なら、図書館は知の泉であり、知の館であり続けるからである。多くの国の大学を知る者（ハーバード大学、ケンブリッジ大学など）の一人として、印象に残っているのは、やはり図書館であり、その建物と蔵書であることは言うまでもない。

本学の100年史に見る図書館を想像することは慶応大学150年を今にみる時必ずしも遠いことではないと考えるのである。



あなたのお悩み解決し隊!!

第6回：図書館 HP リニューアル!!

2009年4月に、図書館のHPがリニューアルしました！

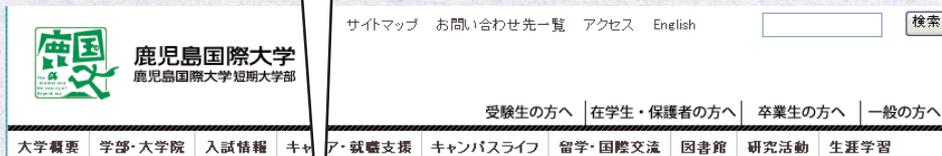
今回の「解決し隊」は、リニューアルポイントと、HP活用法、HPを利用したエコ活動についてご紹介します。

HPリニューアルポイント!!

今回のリニューアルで、トップページ上から様々なデータベースへ直接アクセスできるようになりました。

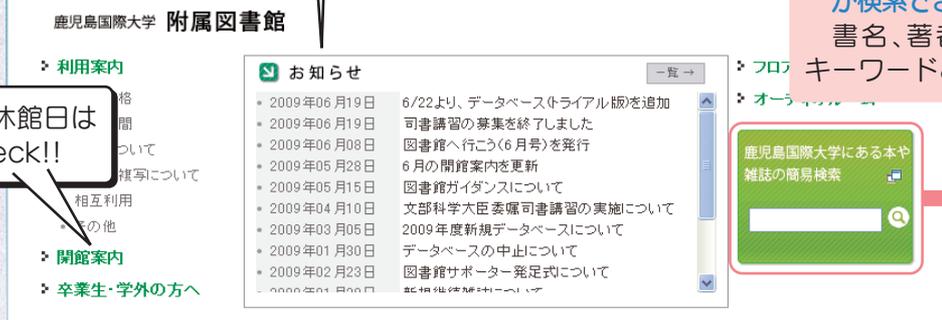
最新情報はここでCheck!!

Renewal Point 1



* トップページ上で、学内の蔵書が検索できるようになりました！
書名、著者名、ISBN、ISSNをキーワードとして、利用できます。

閉館時刻、休館日はここでCheck!!



鹿児島国際大学にある本や雑誌の簡易検索

情報検索

蔵書検索

- 鹿児島国際大学附属図書館蔵書検索(OPAC)
- 大学・研究機関蔵書検索(Webcat)
- 連想機能での本探し(WebcatPlus)
- 国立国会図書館蔵書検索(NDL-OPAC)
- 鹿児島国際大学論文・紀要・報告集

新聞所蔵リスト

- 新聞所蔵リスト(本学)
- 南日本新聞データベース
- 聞蔵(きくぞう)IIビジュアル(朝日新聞オンラインデータベース)

学術論文を探す(データベース)

- EBSCOhost EconLit with Full Text
- EBSCOhost SocINDEX with Full Text
- ProQuest Academic Research Library
- ProQuest ABI
- Web of Science
- 論文の検索(CINii)
- NEXT有報革命
- D1 - Low.com(第一法規法情報)
- NICHIGAI / WEB Services
- Periodicals Index Online
- ヨミダス歴史館(トライアル)
- 医中誌Web(トライアル)
- 雑誌記事索引(集成DB(トライアル))

- 今月の図書館へ行く
- 館内出版物(図書館だより)
- 図書館サポーター
- 文部科学大臣委嘱司書講習
- Q&A

お問合せ

tosyokan@ofc.iuk.ac.jp



図書館情報(携帯)

図書館サポーターの活動日誌や「図書館へ行く」のバックナンバーはこちら

Renewal Point 2

* 各種データベースへ、トップページ上からアクセスできるようになりました！

トップページ上に、データベースのリンクをはり、利用したいデータベースへ直接アクセスできるようにしました。

HPを活用しよう!!

図書館のHPには、各種データベースがリンクされています。活用すれば、必要な情報を効率よく入手できます。また、ちょっとした**エコ活動**もできて、一石二鳥です!!

「情報検索」で効率よく必要な情報をゲット!

「情報検索」は、「本を探す」、「新聞所蔵リスト」、「学術論文を探す」の3つに分かれています。

本を探す!

探している本が大学にあるのか、また、他の図書館にあるのかを確認できます。国会図書館、全国の大学図書館などの蔵書検索へアクセスできます。

新聞記事を探す!

南日本新聞と朝日新聞の記事を検索できます。朝日新聞は、誌面のイメージデータを参照できるものがあります。(学内専用です。)

洋雑誌記事索引データベース
EBSCOhost、ProQuest、Web of Scienceの3つがあります。全文を参照できるものもあります。(学内専用です。)

各種データベース(学内専用です。)

- * **NEXT有報革命**
有価証券報告書などの法廷開示資料を閲覧できます。
- * **D1-Low.com**
法律情報、判例情報を検索、参照できます。
- * **NICHIGAI / WEB Service (MAGAZINE PLUS)**
国内の雑誌記事を検索できます。

情報検索

蔵書検索

- 鹿児島国際大学附属図書館蔵書検索(OPAC)
- 大学・研究機関蔵書検索(Webcat)
- 連想機能での本探し(WebcatPlus)
- 国立国会図書館蔵書検索(NDL-OPAC)
- 鹿児島国際大学論文・紀要・報告集

新聞所蔵リスト

- 新聞所蔵リスト(本学)
- 南日本新聞データベース
- 聞蔵Ⅱ(朝日新聞オンラインデータベース)

学術論文を探す(データベース)

- EBSCOhost EconLit with Full Text
- EBSCOhost SocINDEX with Full Text
- ProQuest Academic Research Library
- ProQuest ABI
- Web of Science
- 論文の検索(CiNii)
- NEXT有報革命
- D1-Low.com(第一法規法情報)
- NICHIGAI / WEB Service
- Periodicals Index Online

雑誌記事、各種データを探す

*「学術論文を探す」をクリックすると、データベースの一覧が表示され、そこからアクセスできます。データベースの詳しい利用法は、カウンター職員へお尋ねください。

学術論文を探す(データベース)

- EBSCOhost EconLit with Full Text
- EBSCOhost SocINDEX with Full Text
- ProQuest Academic Research Library
- ProQuest ABI
- Web of Science
- 論文の検索(CiNii)
- NEXT有報革命
- D1-Low.com(第一法規法情報)
- NICHIGAI / WEB Service
- Periodicals Index Online

和雑誌記事索引データベース CiNii
学術雑誌、各大学の論集などの記事を検索できます。全文を公開しているものもあります。



HP活用でeco!

CiNii、ProQuest、EBSCOhostでは、一部の雑誌記事の全文を、聞蔵Ⅱでは、朝日新聞の誌面を画像データとして、PC上で参照できます。これらのデータベースを活用すると、**コピー用紙の節約ができます。**また、**無料で公開されているので、お金の節約にもなります。**

サポーター活動中!!

2009年4月から、図書館サポーターが正式に活動を始めました。今年度の活動報告と、感想を書いてもらいました。

活動報告

- 4月 新入生勧誘、定例会議
2・3階フロアマップ作成
機関紙「晴読雨読」vol.1発行
- 5月 定例会議、学生図書選書、しおり作成
- 6月 『晴読雨読』vol.2発行
- 7月 定例会議
キャンパス見学会で“読み聞かせ”実施
蔵書点検手伝い
- 9~10月 定例会議
- 11月 定例会議、『晴読雨読』vol.3発行
サポーター選書図書展示
- 12月 定例会議
『晴読雨読』vol.3.5(特集号)発行予定



サポーター活動記

国際文化学部1年 福田 飛鳥

今回のサポーター活動では、装備作業を体験しました。司書の仕事に興味はありましたが、実際どのような仕事をしているか知らなかったので、今回の活動は、とても貴重な体験となりました。

装備は単純な作業のようで結構難しく、いろいろと苦戦はしましたが、先輩方の優しく丁寧な指導のおかげで、とても楽しく活動することができました。(装備作業…蔵書印シールとバーコードの保護シールを貼る作業)

国際文化学部4年 高柳 智恵

モニターからサポーターへの昇格から始まり、図書館実習の実現や、機関紙の発行、しおりの配布など、チャレンジし続けた濃い1年でした。

実習中は、学生の皆さんに声をかけていただく度に、緊張もしましたが、サポーターの存在が浸透していくのを実感し、嬉しかったです。あっという間の1年でしたが、皆さんと図書館をつなぐお手伝いが少しでもできたなら、幸いです。1年間ありがとうございました。そして、これからも図書館サポーターをよろしく願いいたします。

テーマ展示

	2階フロア	3階フロア
4月	新生活応援特集	映画化・ドラマ化原作本
5~6月	平成20年度図書館モニター選書本	時の記念日&天文特集
7~9月	私の1冊、アナタの1冊(サポーターおすすめ本紹介)	戦争&ホラー特集
10月	たつみや章&ミステリー特集	スポーツ特集
11月	平成21年度図書館サポーター選書本	芸術特集
12月	ムーミン&童話特集	2009年総決算~2009年に出版された本~

Library Report



44名の図書館専門職員のたまごが誕生



今年度の文部科学大臣委嘱司書講習は、来年が国民読書年という年の講習であったせいか、県内外から多くの応募があった。結果、講習を受けられたのは、応募者の半分強という厳しいものであった。

しかし、受講生はいつもの通り、小中学校図書室員や公立図書館員・教師など、職務上資格が必要な現場職員や、主婦・無職・学生のように、資格を取得し、これからの就職やボランティア活動に活かしたいという者がほとんどであった。中には、講習中に図書館勤務をゲットしたつわ者もいた。

今年の講習は、新型インフルエンザの流行が特徴だった。本学の受講生は、公共交通機関を使って登下校している者が多く、感染の機会が多いことから“感染しないように極力注意”してもらった。特に学級閉鎖を心配していたが、幸いにも、講師・受講生の誰一人として感染しなかった。学級閉鎖になったら、打つ手はなかった。今考えてもぞっとする。

反面、天候には恵まれた。台風銀座と言われている鹿児島に、台風が来なかった。そのおかげで、授業は順調に進められていった。

ところで、昨年、図書館法が改訂された。それに伴い、図書館施行規則も改正。司書となるための要件がかなり変更となったり、就職後の研修が義務付けられたりと、かなりの変更点があった。

その中でも特に、司書となるために必要な「図書館に関する科目」が省令化されたことにより、修得単位が20単位から、24単位必要な新カリキュラムとなった。新カリキュラムは、平成24年度から一斉に変更され、旧カリキュラム受講者には、科目の読み替えなどが計画されている。だがやはり、平成23年度までに資格を取得することが、受講生からするとベターである。今年度の受講生の増加は、そのあたりがあったのかもしれない。いつものことながら、44名の司書資格が活躍の日が来ることを、心から願っている。





2009(平成21)年度参加研修一覧

出張名(開催地)	日程
私立大学図書館協会西地区部会 2009(平成21)年度第1回九州地区協議会(沖縄)	4/23
第60回九州地区大学図書館協議会総会(沖縄)	4/24
平成21年度第1回鹿児島県大学図書館協議会 研修委員会(鹿児島)	5/12
平成21年度第1回鹿児島県大学図書館協議会 会報編集委員会(鹿児島)	5/12
第30回鹿児島県大学図書館協議会総会(鹿児島)	5/26
音楽図書館協議会2009年度総会(東京)	6/24
私立大学図書館協会西地区部会研究会九州地区協議会 2009(平成21)年度九州地区研究会(長崎)	8/21
第70回私立大学図書館協会総会・研究大会(京都)	8/27~28
平成21年度図書館等職員著作権実務講習会(東京)	9/9~11
平成21年度目録システム地域講習会(図書コース)(長崎)	9/16~18
私立大学図書館協会2009年度西地区部会研究会(京都)	9/18
平成21年度鹿児島県大学図書館協議会第1回講演会 (鹿児島)	10/2
平成21年度鹿児島県大学図書館協議会研修会(鹿児島)	10/2
平成21年度文部科学大臣委嘱 司書・司書補講習開講大学全国連絡協議会(神奈川)	10/29
平成21年度第95回全国図書館大会 東京大会(東京)	10/30
平成21年度鹿児島県図書館大会(鹿児島)	11/11
平成21年度鹿児島県大学図書館協議会第2回講演会 (鹿児島)	12/1

●新規継続雑誌について

- ・初等教育資料
- ・IDE 現代の高等教育
- ・大学と学生
- ・Shakespeare Criticism
(2010年1月から購読予定です。)

●購読中止の雑誌について

- ・オール投資
- ・金融ビジネス
- ・季刊労働者の権利
- ・文化人類学
- ・Wall Street Journal : Eastern edition
(2010年より購読中止)

●雑誌の休刊について

- ・GPnet (2009年2月まで)
- ・国文学：解釈と教材の研究 (2009年7月まで)

●新規データベースについて

- ・ヨミダス歴史館
明治7年の創刊号から、最新号までの読売新聞の
記事を検索できます。(2010年4月から利用できます。)



新スタッフ紹介

事務長補佐：武田 修

今年度4月の異動で、図書館に勤務しています。現在、情報整理係で和書・洋書の目録業務を担当しています。目録業務は、数多くのルールがあり、日々勉強の連続です。しかし、周りの温かいアドバイスを受けながらアットホームな雰囲気の中で仕事をしています。「図書館1年生」から早く脱皮し、業務に精通できるよう、努力したいと思っています。



編集後記



今年度、図書館報“図書館だより”は平成元年の創刊より20周年を迎え、第30号を発行することができました。原稿をお寄せいただきました皆様には、感謝申し上げます。今回初めて編集に携わることで、図書館の役割が少しずつ変化していることを感じました。これからも、大学図書館として学生・教職員はもちろん、地域の方々にももっと利用していただけるよう、いろいろな情報を提供していきたいと思っております。皆様からのご意見・ご感想もお待ちしておりますので、これからもよろしくお願い致します。(R.M & F.U)

図書館だより—鹿児島国際大学附属図書館報— 第30号 2010年1月12日発行

鹿児島国際大学附属図書館 〒891-0197 鹿児島市坂之上8-34-1

TEL:099-263-0732 FAX:099-261-1198 E-mail:tosyokan@ofc.iuk.ac.jp
(URL) <http://www.iuk.ac.jp/~tosyokan/> (携帯URL) <http://lbweb.iuk.ac.jp/nbp/>